

第6回 いわて住まいの講座を開催します！

平成21年度

建築住宅課

第6回いわて住まいの講座

地域の景観とともに歩む『金山型住宅』(仮称)

講師 阿部 利広 氏 (阿部建築研究室 所長 [山形県])



1955年 山形県金山町生まれ  
 1985年 阿部建築研究室開設  
 一級建築士・金山町景観審議会専門委員  
 木造住宅を中心とした設計活動を展開。  
 木材の経年変化による美しさに引かれ、金山型住宅を中心として木材の使い方にこだわった設計を行っており、木材(杉材)を内外装にふんだんに使用した住まいづくりを提案。  
 ※ 設計事例 → <http://www.aads.info/>

参加  
無料

戦後の高度成長期において行われてきた開発という自然破壊と、それに伴う土地投機バブルが終焉し、そこで改めて見直された日本の「景観」。無秩序な街並み景観や景観に配慮しない土木構造物、自然破壊に目が向けられるようになり、平成16年には、日本初の景観に関する総合的な法律として『景観法』が制定されました。

一方、山形県金山町ではその「景観」への目を、今からおよそ半世紀前の昭和38年から向けていました。金山町の景観にこだわった町づくりは、当時の町長岸英一氏が提唱した「全町美化運動」に始まり、現在の街並み景観条例、街並みづくり100年運動に結びつき、町民自身が誇れる町づくり、誰もが住みたくなる町づくりが進められています。

その流れの中で、昭和59年には「金山町地域住宅計画」を策定し、在来工法を中心に切り妻屋根に木組みの柱と白壁作りといった「金山型住宅」の様式が体系化されました。現在では、町内の住宅の1/3にまで「金山型住宅」が広がっています。

今回講師としてお招きする阿部氏は、その「金山型住宅」の建設・普及を行っており、金山型住宅を建設する際のアドバイスを行う街並み景観審議会専門委員でもあります。

本講座では、これまでの金山型住宅の取組の成果を事例とともにご紹介いただくこととしております。

現在県において取り組んでおります「岩手型住宅」の建設促進や良好な景観形成にもつながるものですので、多くの皆様のご参加をお願いします。

日時	平成22年3月10日(水) 14:00~16:00
場所	アイーナ(盛岡駅西口) 8階 812研修室
定員	150名

お申し込み・お問い合わせ : けんみん住宅プラザ いわてハウジングフォーラム担当  
 電話 019-652-7744 / FAX 019-652-8123  
 URL <http://www.jutakuplaza.com/>

主催：岩手県・いわてハウジングフォーラム